



バラ講座“我が家の防災対策”



講師の比留川さん。
まずは
自己紹介から・・・。

11月18日(水)のサロンは、毎年恒例の『バラ講座』での勉強会。講師に、綾瀬市安全・安心課の比留川さんをお招きして、地震時の防災対策について勉強しました。



阪神・淡路大震災を教訓に作られた「地震対策」のビデオを見て、改めて大地震の怖さを思いました。

日頃からの備えが大事だとわかっていても、なかなか出来ないのが現状ですが、こういうビデオを見ると“準備しなくちゃ！”という気持ちになりますね。まずは“非常用持出袋”の点検を！！



“ビデオ観賞”の後は比留川さんから改めてお話を伺いました。



～比留川さんのお話から～

- * 自分の身は自分で守る。グラツときたらまず机の下などへ避難。揺れている時は机が動いてしまうので、しっかり足を持つ事が必要。
- * 地震直後は地域で身を守る。となり近所のお年寄りの安否確認を。
- * 地震時の初期消火のタイミングは・・・
 - ・グラツときたとき
 - ・大揺れがおさまったとき
 - ・燃え始めたとき
- * すぐに救援物資は来ないので、3日分の食糧・水の確保をしておく。
- * 市の貯蓄量は、6,800食、小学校のグラウンド下に100トンの水、吉岡の浄水場の水も利用されることになっている。
- * 東海地震はいつ来てもおかしくない。予知も可能になっている。最新の携帯はお知らせが入る。



勉強の後は、いつもの“ボケない小唄”をみんなで元気よく歌いました。

“来月は忘年会よ～！”と、みんなで確認し合って解散となりました。